

#### 第84回 令和7年9月13日（土）

**本日は文化祭初日です。文化祭の楽しさは高校生の特権です。存分に楽しんでください。そして来場するお客様にも楽しんでいただきましょう！**

アイディアというのは「知らない」ことが強みになります。

大人になるといろいろなことを経験して、これは無理というラインがわかります。新しいことを始めるときに自然と限界や壁が見えてしまいます。

一番は費用対効果。コストや利益が浮かんでくるとアイディアはストップします。専門的な知識が豊富であるほどこの傾向は顕著です。「それは無理に決まっているよ」と頭ごなしに否定して冷笑する知識人がネットにあふれています。

これを「既成概念」といいます。このバイアスが自由な発想を閉ざして、発想力を低下させます。「否定しない」ということがいかに大事か。アメリカの巨大企業のグーグルは社員から出たアイディアを絶対に否定しないという決まりがあるそうです。日本のヒエラルキーがそれを妨げている状況を見ればGAFAがかなり先進的なことがわかります。

無責任にアイディアを出すこと、ブレインストーミングで気軽に発想することを日本の教育はもっと大事にすべきかもしれません。おそらく「探究」がそれを志向して作られた科目だと思います。常識や否定を怖がって自由な探究ができないうちは、驚くようなアイディアは生まれませんと思います。

イーロンマスクは本気で宇宙に移住しようと考えています。そこに巨大な投資もしています。無理だと否定することは簡単ですが、地球温暖化で突然居住が難しくなった時に人類の希望になるかもしれません。

「無責任」や「無知」は武器になります。知らないからアイディアを出してはいけないわけではないですし、仮説を立てて、検証して「できない」ことがわかったら、それは「できない」ことを発見できたという「成功」なのです。

社会に出る前の高校生はこの強みをたくさん持っています。みなさんの発想は世界の財産です。思い切ってとんでもない仮説を立ててみてください。電気を発明したり初めて空を飛んだ偉人たちの辞書に「無理」ということばは載っていなかったはずですよ。